

公表

児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	Perch		
○保護者評価実施期間	2026年2月1日		～ 2026年2月17日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 4名
○従業者評価実施期間	2026年2月1日		～ 2026年2月17日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 7名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年2月20日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもたちが楽しく通い居場所となれるよう事業所作りを行っている。	子どもたちの居心地のいい居場所となれるように1人1人の好きな遊びや物、特性を理解し児童に合った関わり方を見つけスタッフ間で共有する。また子供のやってみたいのチャレンジの気持ちを大事にしている。	子どもによって関わるスタッフに偏ってしまうことがあるため全スタッフが関わりいろんな視点から発見し支援していきたい。
2	毎日集団遊びを行っている。	集団遊びの時間を固定し時間の見通しをもって個別療育や学習などを終わらせ集団遊びに参加する。全児童が参加できるようその日に来所予定の児童を確認した上で集団遊びの内容を決める。	集団遊びの内容がマンネリ化してきているため子どもたちの初めてする遊びへの不安を軽減できるよう新しい遊びにどんどん挑戦していきたい。
3	幅広い年齢の児童が通っている。	未就学児から高校生まで受け入れ可能で幅広い年齢の子どもたちが通所されているため子ども同士でも関わる年齢層の幅が広い。	年齢が違う相手への関わり方や言葉選びを適切に行えるよう子ども同士で関わる機会を積極的に増やしていきたい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者会、保護者同士の交流する機会が少ない	保護者会を開催できていなかった。	1年に2回(上半期、下半期)固定で保護者会開催できるように準備している。またイベントによっては保護者参加可能にしどのように過ごしているのか知ってもらえる機会を増やしていく。
2	避難訓練や災害時の対応方法をスタッフ間での共通認識や保護者に向けての周知が不十分であった。	訓練頻度が少なく、訓練内容についても周知が不十分であった。	平日の集団遊びや休日のイベントに災害について学び訓練をする機会を作る。また、その内容をSNSやHPで公開し周知していきたい。
3	送迎時に保護者に児童の様子や出来事についてお伝えする内容が職員によってムラがあった。	送迎時間のタイムスケジュールがありお伝えする内容が浅くなってしまっていた。また送迎時にお伝えする内容として決まりはなく送迎時のスタッフの個人的な観点でお伝えしていたためムラが出てしまっていた。	送迎を余裕をもって組んでいく。送迎者の中にいるスタッフのコミュニケーション回数を増やし児童の様子をしっかり引き継ぎ保護者にお伝え出来るようしていく。また新しい取り組みとして事業所内での過ごし方を知っていただくために療育中や自由時間、イベント時の写真のお送りを始めた。

公表

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果

事業所名 Perch

公表日 2026年2月25日

利用児童数 7

回収数 4

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	2	2				
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	2	2				
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。 また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、 バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	3	1			バリアフリーとはわかりませんが こどもにわかりやすく構造化された 環境はなっていると思います	各部屋の扉には「お話のお部屋」「お勉強のお部屋」など視覚的にわかるよう絵と文字で貼り紙をしております。 また全体を見渡せるようなるべく物は収納するよう環境設定行っております。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。 また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	3	1				
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、 こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	2	2				1人1人の特性を理解し支援につなげられるよう 引き続きアセスメントに努めてまいります。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、 事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	3	1				
	7 こどものことを十分に理解し、 こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、 児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	4					
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの 「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で 示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、 その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	4					
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	3			1		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	4					
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、 その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	1	1		2		
保護者 への 説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について 丁寧な説明がありましたか。	3	1				
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	3			1		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や 家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	3			1		
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、 こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	3			1	以前は今日の様子など 色々教えて頂けていましたが、 今は無いように思います。 先生によつてだと思えます。	送迎時に保護者様にお伝えする内容として スタッフ間での認識に違いがあったため共通で 認識持てるよう話し合いを行いました。今後は しっかり本日の様子をお伝えできたらと思います。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	3			1		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	4					
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、 保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。 また、きょうだい向けのイベントの開催等により、 きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされていますか。	2			2		年に2回は固定で保護者会を開催し 保護者様とごきょうだいの参加も可能イベントも 随時行っていく予定です。
	19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、 こどもや保護者に対してそのような場があることについて 周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	3			1		
	20 こどもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	3			1		
	21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、 活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を こどもや保護者に対して発信されていますか。	1	2		1		SNS (LINE, Instagram, HP) 等の 更新を増やし 活動内容について知っていただく機会を 増やしていきたいと思っております。
22 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	3	1					
非常時 等の 対応	23 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、 防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、 保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	1	2		1		
	24 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出 その他必要な訓練が行われていますか。	2			2		避難訓練等安全計画は行っておりますが、 保護者様へのお知らせが足りていなかったため、 今後は周知に努めてまいります。
	25 事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、 安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	1	1		2		

	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	2	1		1		
満足度	27	ごどもは安心感をもって通所していますか。	4					
	28	ごどもは通所を楽しみにしていますか。	3			1		
	29	事業所の支援に満足していますか。	4				こちらからの要望も聴いて頂けてとても助かります。	いつもPerchをご利用いただきありがとうございます。保護者様に満足いただけるよう努めてまいります。今後ともよろしくお願いたします。

公表 児童発達支援事業所における自己評価結果

事業所名		Perch		公表日		2026年2月25日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7				
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	2			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。 また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	2			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。 また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	2			扉など修繕が必要な箇所があるため速やかに対処する。個々の特性に応じた視覚支援などにもっと力を入れていきたいです。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7		学習部屋、面談室、プレイルームと3部屋あり用途に合わせて使い分けております。 不安定な児童が落ち着くために		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5	2	毎日出勤者全員で終礼に参加し振り返りと改善策の検討を行っております。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	1	一年に一回保護者様にアンケートを配布いたします。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	1	毎月全員出勤日を設けており支援のことや業務改善の会議行っております。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	1			現在評価の機会がないため、評価の機会を作っていきます。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		資格取得のための研修やグループ内での研修の機会も多く、積極的に参加しております。		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7				
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	1			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7		支援計画が完成後はスタッフに共有され計画された内容に沿って個別療育、専門療育を進めております。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを	6	1			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	1			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	2			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	1			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7				
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7		必要に応じて打ち合わせし、共有しております。		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	1	必要に応じて打ち合わせし、共有しております。		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		支援についての困りごとや改良したいことについて全体会議で議題として挙げ最案を見つけるために全員で試行錯誤行う。その経過や結果についても毎日の議事録で共有行っております。		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7				

関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	1		必要に応じて担当者会議を行い、各所と連携できるよう情報共有などしております。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	1		保育所、幼稚園とはお迎え時などに支援内容、支援方法や当事業所での様子または園でのご様子を共有させていただいております。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7			
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	6	1		必要に応じてセンターに相談や報告を行い連携をとり、助言等もいただいております。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	1	6		
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	7			
保護者への説明等	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	3		保護者様も参加できるイベントを行いその際に家族支援やペアレントトレーニングを一緒に行ってまいります。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7			
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7			
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4	3		昨年は保護者会が開催できておらず、またきょうだい同士で交流する機会も作れていなかった。年に2回は固定で保護者会を開催し保護者様やごきょうだいの参加も可能イベントも随時行ってまいります。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	1		
	41	定期的に通信等を行うことや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7			療育中やイベント、日常の様子を知っていただくために写真を保護者様にお送りさせていただいております。SNS (LINE、Instagram、HP) 等の更新を増やし活動内容について知っていただく機会を増やしていきたいと思っております。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7			
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	1		
非常	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	6		
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	1		避難訓練（不審者・地震・火事）を月一回で行う。また、避難時に職員がどの児童を連れて避難するか、避難時の児童担当表を準備しておく。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	1		責任者があつまりBCPの研修を定期的に行っております。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	1		
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	1		

時 等 の 対 応	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	1	安全計画委員会にて研修や訓練を行っております。	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	1		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	2	ヒヤリハットが起こった日の終礼で出来事と改善策をスタッフ間で検討するようにしております。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7			
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6	1		

公表 放課後等デイサービス事業所における自己評価総括表

○事業所名	Perch		
○保護者評価実施期間	2026年2月1日		~ 2026年2月17日
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 25名	(回答者数)	19名
○従業者評価実施期間	2026年2月1日		~ 2026年2月17日
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 7名	(回答者数)	7名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年2月20日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもたちが楽しく通い居場所となれるよう事業所作りを行っている。	子どもたちの居心地のいい居場所となれるように1人1人の好きな遊びや物、特性を理解し児童に合った関わり方を見つけスタッフ間で共有する。また子供のやってみたいのチャレンジの気持ちを大事にしている。	子どもによって関わるスタッフに偏ってしまうことがあるため全スタッフが関わりいろんな視点から発見し支援していきたい。
2	毎日集団遊びを行っている。	集団遊びの時間を固定し時間の見直しをもって個別療育や学習などを終わらせ集団遊びに参加する。全児童が参加できるようその日に来所予定の児童を確認した上で集団遊びの内容を決める。	集団遊びの内容がマンネリ化してきているため子どもたちの初めてする遊びへの不安を軽減できるよう新しい遊びにどんどん挑戦していきたい。
3	幅広い年齢の児童が通っている。	未就学児から高校生まで受け入れ可能で幅広い年齢の子どもたちが通所されているため子ども同士でも関わる年齢層の幅が広い。	年齢が違う相手への関わり方や言葉選びを適切に行えるよう子ども同士で関わる機会を積極的に増やしていきたい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者会、保護者同士の交流する機会が少ない	保護者会を開催できていなかった。	1年に2回(上半期、下半期)固定で保護者会開催できるように準備している。またイベントによっては保護者参加可能にしようとしていく。
2	避難訓練や災害時の対応方法をスタッフ間での共通認識や保護者に向けての周知が不十分であった。	訓練頻度が少なく、訓練内容についても周知が不十分であった。	平日の集団遊びや休日のイベントに災害について学び訓練をする機会を作る。また、その内容をSNSやHPで公開し周知していきたい。
3	送迎時に保護者に児童の様子や出来事についてお伝えする内容が職員によってムラがあった。	送迎時間のタイムスケジュールがありお伝えする内容が浅くなってしまっていた。また送迎時にお伝えする内容として決まりはなく送迎時のスタッフの個人的な観点でお伝えしていたためムラが出てしまっていた。	送迎を余裕をもって組んでいく。送迎者の中にいるスタッフのコミュニケーション回数を増やし児童の様子をしっかり引き継ぎ保護者にお伝え出来るようにしていく。また新しい取り組みとして事業所内での過ごし方を知っていただくために療育中や自由時間、イベント時の写真のお送りを始めた。

公表 保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果

事業所名 Perch

公表日 2026年2月25日

利用児童数 25

回収数 19

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	16	3				
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	13	6				
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。 また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、 バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	17	2				
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。 また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	16	3				
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、 こどもの特性に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	15	1	2	1		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、 事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	14	5				
	7 こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、 放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	15	3	1			1人1人の特性を理解し支援に繋がられる よう引き続きアセスメントに努めてまいり ます。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの 「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、 「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、 その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	17	2				
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	16	2	1		休日の外出がなくなりましたが、 おやつのお買い物また復活してほしいです。	ご意見ありがとうございます。 昼食のお買い物支援は現在も実施中ですので お気軽にお申しつけください。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	15	4				
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	3	6	2	8		
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、 利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	16	3				
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	18	1				
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や 家族も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	5	4	5	5		
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、 こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	14	3	2		たまに何もお伝えしてくれない先生が いらっしやるので、状況が分からず 不安になる時があります。	ご不安な思いをおかけして申し訳ございませんで した。送迎時に保護者様にお伝えする内容としてスタッ プ間での認識の違いがあったため共通で認識持てるよう 話し合いを行いました。今後はしっかり本日の様子をお 伝えできたらと思います。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	14	4		1		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	16	2		1		
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、 保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。 また、きょうだい向けのイベントの開催等により、 きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされていますか。	3	5	7	4		年に2回は固定で保護者会を開催し 保護者様やきょうだいの参加も可能な イベントも随時行っていく予定です。
	19 こどもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、 こどもや保護者に対してそのような場があることについて 周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	14	2	1	2		
	20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	15	2	1	1		
	21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、 連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を こどもや保護者に対して発信されていますか。	11	4		4		SNS (LINE、Instagram、HP) 等の 更新を増やし活動内容について知っていただ く機会を増やしていきたいと思っております。
22 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	18	1					
非 常 時 等 の 対 応	23 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、 感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。 また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	9	1	2	7		
	24 事業所では、非常災害の発生に備え、 定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	8			11		避難訓練等安全計画は行っておりますが、 保護者様へのお知らせが足りていなかった ため、今後は周知に努めてまいります。
	25 事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、 安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	12	1	1	5		
	26 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、 事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について 説明がされていると思いますか。	12	2	1	4		

満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	17	2		同じ年代の子達がたくさん利用しているので子供も嫌がらずに行ってくれています。先生方が雰囲気の良い方ばかりなので安心して子供を預けています。	いつも子供たちから元気をもらい、たくさんのごことを学ばせていただいております。保護者様、子どもたちの居場所となれるよう進化し続けられるよう努めてまいります。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	16	2	1		
	29	事業所の支援に満足していますか。	15	3	1	子どもが通所をととても楽しみにしていて、安心して通わせることができている。はなまるグループという大きなグループであるため職員さんの移動がよくあり、都度子どもが寂しそうにしていることが少し残念に思います。	いつもPerchの運営にご理解、ご協力いただきありがとうございます。安定した人事配置や子どもたちに安心して通っていただけるように今後とも努めてまいります。

公表 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

事業所名		Perch		公表日 2026年2月25日			
		チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	3			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。 また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	1			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。 また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	3		扉など修繕が必要な箇所があるため速やかに対処する。個々の特性に応じた視覚支援などにもっと力を入れていきたいです。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7		学習部屋、面談室、プレイルームと3部屋あり用途に合わせて使い分けております。不安定な児童が落ち着くために個室の面談室で過ごすこともあります。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6	1	毎日出勤者全員で終礼に参加し振り返りと改善策の検討を行っております。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		一年に一回保護者様にアンケートを配布いたします。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	1	毎月全員出勤日を設けており支援のことや業務改善の会議を行っております。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	2		現在評価の機会がないため、評価の機会を作っていきます。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		資格取得のための研修やグループ内での研修の機会も多く、積極的に参加しております。		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7				
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	1			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7		"支援計画が完成後はスタッフに共有され計画された内容に沿って個別療育、専門療育を進めております。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	2			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	2			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	3			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7				
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	1	必要に応じて打ち合わせし、共有しております。		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	1	必要に応じて打ち合わせし、共有しております。		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		支援についての困りごとや改良したいことについて全体会議で議題として挙げ最善を見つけるために全員で試行錯誤行う。 その結果を結果として毎日の記録する		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7				
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	7				
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定を育てるための支援を行っているか。	7				
26	障害児相談支援事業所のサービ担当者と会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7					
27	地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	1	必要に応じて担当者会議を行い、各所と連携できるよう情報共有などしております。			
28	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか。	6	1	学校とはお迎え時やお電話を通して支援内容、支援方法や当事業所での様子、宿題についても共有させていただいて			

関係機関や保護者との連携	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	2		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6	1		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	4		必要に応じてセンターに相談や報告を行い連携をとり、助言等もいただいております。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3	4		
	33	(自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	3	4		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	3		保護者様も参加できるイベントを行いその際に家族支援やペアレントトレーニングを一緒に行っていきたいです。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	1		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。 また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	3	4		昨年は保護者会が開催できておらず、またきょうだい同士で交流する機会も作れていなかった。 年に2回は固定で保護者会を開催し保護者様やきょうだいの参加も可能イベントも随時行っていきます。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	1		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	1		療育中やイベント、日常の様子を知っていただくために写真を保護者様にお送りさせていただいております。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7			SNS(LINE、Instagram、HP)等の更新を増やし活動内容について増やしていきたいと思っております。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	6		地域住民の方との交流ができていないため季節のイベント(夏祭り)などで招いて関わる機会を作っていきたいです。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	1		避難訓練(不審者・地震・火事)を月一回で行う。また、避難時に職員がどの児童を連れて避難するか、避難時の児童担当表を準備しておく。
	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	1		責任者があつまりBCPの研修を定期的に行っております。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7			
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	1		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7			安全計画委員会にて研修や訓練を行っております。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	1		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7			ヒヤリハットが起こった日の終礼で出来事と改善策をスタッフ間で検討するようにしております。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7			
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	1		